

## 早稲田大学 教育学部 世界史 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	18・19世紀のフランス	4のナポレオンは小貴族出身。5のナポレオン法典では女性の地位が低く抑えられている。2点とも『用語集』には記述がない。8の正統主義はタレーランが提唱したもので、これによってブルボン朝は仏革命とナポレオンの被害者の立場に立つことができ、敗戦国としての過酷な扱いをうけることを避けることに成功した。	やや難
2	中世ローマ=カトリック教会	9のウルガタ聖書のヒエロニムスは難問。ただ、冷静になれば消去法で対応が可能。	標準
3	二つの帝国～漢と清	A-(4)はヌルハチを念頭において発音の近いものを選択。B-aの呉楚七国はすべて劉姓。bの徴姉妹は後漢光武帝時代の事件。dの台湾民主国は事実上1週間で瓦解。李登輝や陳水扁は完全な時事問題。ただ、正誤問題ではこうした文章の内容はあまり疑わないほうがいい。	やや難
4	東西交渉史 草原の道 オアシスの道 海の道	3-(3)パーミヤンの玄奘による漢字表記は一見すると奇問だが、語群の中の音韻に近いのは梵衍那しかない。(4)のトルファンは漢字表記の「高昌」の方が一般的。唐は高昌国を征服して安西都護府を置いた。	易

### 〔総合コメント〕

『用語集』レベルでは対応不可能な出題が見られた。これは近年見られなかったことで、高得点をねらう受験生にとっては厳しい状況となった。